

安全データシート

1. 製品及び会社情報		
製品の名称	テンキヤップ用充填材（アクリルエマルジョンコーキング）	
会 社 名	有限会社 カシレキ	
住 所	〒661-0974 兵庫県尼崎市若王寺3丁目18-4	
担当部門	製造部	
電話番号／FAX	06-6496-5761 ／ 06-6496-5762	
緊急連絡先	担当部門と同じ	
作成・改定	2026年7月17日	
主な用途	テンキヤップへの充填	

2. 危険有害性の要約（GHS分類）		
物理化学的危険性	可燃性固体	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	目に対する重篤な損傷／目刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	生殖細胞変異原生	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳影響	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水性環境有害性 短期（急性）	区分 3
	水性環境有害性 長期（慢性）	区分 3
	オゾン層への有害性	分類できない
GHS ラベル要素		
絵表示	なし	
注意喚起語	なし	
危険有害性情報	長期継続的影響によって水生生物に有害	
注意書き		
安全対策	環境への放出を避けること。（P273）	
	適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面を着用すること。（P280）	

3. 組成及び成分情報				
化学物質・混合物の区別 混合物				
	成分及び含有量（危険有害性に影響のある物質のみ）			
	成分名	CAS NO.	含有量（%）	備考
	アルファーアルキルーオメガーヒドロキシポリ（オキシエタン-1,2-ジイル）	9004-98-2	0.1－1.5	
	酸化チタン	13463-67-7	0.5－0.8	
	モリブデン及びその化合物（モリブデン酸カルシウム，モリブデン酸亜鉛）	7789-82-4 13767-32-3	0.1－0.15	
	酸化亜鉛	1314-13-2	0.1～0.2	
4. 応急処置				
吸入した場合		蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。		
皮膚に付着した場合		付着物を布で素早く拭き取る。 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤、シンナーなどは使用しないこと。 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。		
目に入った場合		直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。目に刺激が続く場合は医師の診断を受けること。		
飲み込んだ場合		誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。		
5. 火災時の措置				
消火剤		水[○]、炭酸ガス[○]、泡[○]、粉末[○]、乾燥砂[○]、その他[]		
使ってはいけない消火剤		特になし。		
特有の消火方法		消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な措置を行う。 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 消防活動は風上より行う。		
消火を行う者の保護		適切な保護具(耐熱性着衣、マスク、ゴーグル、手袋等)を着用する。		
6. 露出時の措置				
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 皮膚、眼との接触を避ける。 作業の際には適切な保護具(手袋・保護マスク・エプロン・ゴーグル等)を着用する。		

環境に対する注意事項	周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 漏出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所へ移す。 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
7. 取扱および保管上の注意	
取扱い	粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 換気の良い場所で取り扱う。 密閉された場所における作業には、十分な局所換気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。 適切な保護具(手袋・保護マスク・エプロン・ゴーグル等)を着用する。 取扱後は手、顔等を良く洗い、休憩所等に手袋などの汚染した保護具を持ち込まないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保管	日光の直射を避ける。 通風の良いところに保管する。 容器を密閉しておくこと。 0℃以下で保管しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度	データなし。
呼吸器の保護具	密閉された場所では送気マスクを着用する。
手の保護具	有機溶剤又は化学薬品が浸透しない手袋を着用する。
目の保護具	取り扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具	取り扱う場合には、皮膚を直接暴露させないような衣類をつけること。

9. 物理的及び化学的性質	
性状	状態：ペースト 色：グレー
臭い	特有臭あり
pH 25℃	7～10
融点、凝固点	情報なし（水 凝固点 0℃）
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし（水 沸点 100℃）
引火点	なし
燃焼または爆発範囲	該当しない
蒸気圧	該当しない
蒸気密度	該当しない
比重（密度）	約 1.5～1.7
溶解度	水に任意の割合で懸濁分散する。

n-オクタノール／水分分配係数	該当しない
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし

10. 安定性及び反応可能性	
安定性	通常の取り扱い条件下では安定である。
反応性	通常の条件下では反応しない。
避けるべき条件	高温、多湿、花火及び直火、禁水物質
危険有害な分解生成物質	燃焼すると有害ガス(二酸化炭素、一酸化炭素)が発生する。

11. 有害性情報	
急性毒性経口	既知成分は、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が 0.1%以上含有のため区分を分類できないとした。
急性毒性経皮	既知の成分がすべて同一の分類区分。しかし、毒性未知成分が 0.1%以上含有のため区分を分類できないとした。
急性毒性 吸入：気体	GHS 定義による気体ではないため区分に該当しない。
急性毒性 吸入：蒸気	既知成分は、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が 0.1%以上含有のため区分を分類できないとした。
急性毒性 吸入：粉じん ミスト	既知成分は、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が 0.1%以上含有のため区分を分類できないとした。
皮膚腐食性・刺激性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が 0.1%以上含有しているため、区分を分類できないとした。
目に対する重篤な損傷性／ 目刺激性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。ただし、毒性未知成分を含有しているため、分類できないとした。
呼吸器感作性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。ただし、毒性未知成分を含有しているため、分類できないとした。
発がん性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。ただし、毒性未知成分を含有しているため、分類できないとした。
皮膚腐食性・刺激性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が 0.1%以上含有しているため、区分を分類できないとした。
生殖細胞変異原性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。ただし、毒性未知成分を含有しているため、分類できないとした。
生殖毒性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。ただし、毒性未知成分を含有しているため、分類できないとした。
特定標的臓器 単回暴露	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。ただし、毒性未知成分を含有しているため、分類できないとした。
特定標的臓器 反復暴露	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。ただし、毒性未知成分を含有しているため、分類できないとした。

誤えん有害性	区分に該当しない。
--------	-----------

12. 環境影響情報	
水生環境急性有害性	加算法により区分 3
水生環境慢性有害性	加算法により区分 3

13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
廃棄物の処理方法	廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合は、そこに委託して処理する。 容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝（下水道）、河川等への放流は絶対に行わないこと。
汚染容器及び包装	空容器は内容物を完全に除去してから処分する。 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託して処理をする。
14. 輸送上の注意	
全 般	取扱および保管上の注意の項に従うこと。 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
国連番号	該当しない
指針番号	該当しない
容器等級	該当しない
国内規制	陸上輸送：消防法、道路法に従う。 海上輸送：船舶安全法に従う。 航空輸送：航空法の定めるところに従う。

15. 適用法令	
労働安全衛生法	・表示対象物質 なし ・通知対象物質 酸化チタン、モリブデン及びその化合物、酸化亜鉛
PRTR 法	アルファーアルキルーオメガーヒドロキシポリ （オキシエタン－1，2－ジイル） （第一種 政令番号（1-039）管理番号（578））
消防法	該当しない。
船舶安全法	該当しない。
航空法	該当しない。

16. その他の情報	
記載内容について	製品としての安全性試験は行っておりません。 本記載内容は、現時点で入手できる情報・データに基づいて作成しており新し

い知見によって改定されることがあります。また記載されている情報やデータは安全性を保証するものではありません。十分注意してご使用ください。

尚、注意事項は通常取り扱いを対象としたものであつて、特殊な取り扱いの場合はそれにあつた安全対策を実施の上でご使用ください。